

(4) 織田都市計画区域

都市の現状と課題

本都市計画区域は、不老山、天王川、織田川および市街地周辺の田園等の優れた自然的環境を有しており、農業や窯業等を基幹産業として発展してきました。これらの優れた自然的環境や、切妻様式の家屋等の歴史的・文化的な遺産等は将来にわたり守り・活かしていく必要があります。

- 織田町の中心市街地における人口の減少等の空洞化の進行
- 農村の伝統的な家屋が多く残されている江波地区等における伝統的な景観の崩壊



凡 例		
中心市街地等の空洞化	空洞化している中心部	
災害の危険性	土石流危険渓流	
	急傾斜地崩壊危険箇所	
人口の動向	増加している地区	10%以上増加
		0～10%増加
	減少している地区	
郊外に立地する大規模小売店舗 (第1種大規模小売店舗)		
市町村界		
用途地域		

織田都市計画区域マスタープランの内容

都市づくりの基本理念

1 環境と共生した都市づくり

「不老山、天王川、織田川および市街地周辺の田園等の優れた自然的環境」との共生を図りながら、「農業や窯業等の産業」や「江波地区に集積している切妻様式の家屋等の歴史的・文化的な遺産」等の魅力的な都市の個性を守り・活かしながら、都市機能が向上していくように適切な土地利用や都市施設の整備を行っていきます。

期待される効果

- 農地等の里地や里山の自然的環境の保全
- 都市の快適性や利便性の向上
- 人口や産業の流出の抑制
- 安心して暮らせる魅力ある都市空間の創出



切妻屋根の白壁づくりの風景(宮崎村)



歴史的価値の高い劔神社(織田町)



都市計画区域内の田園風景(宮崎村)

2 都市間の連携による都市づくり

丹南都市計画区域等の各都市との連携を強化する広域交通網を整備していくとともに、複数の市町村の連携による都市施設の整備や維持、またはその有効利用を推進していきます。

期待される効果

- 交流人口の増大
- 都市の賑わいの創出
- 必要な都市施設の効率的な整備
- 財政負担の軽減



魅力的な地域環境の維持・まとまりのある市街地形成に向けた土地利用

- 計画的に市街化を図る区域**
 - 現在の用途地域の範囲を基本としてまとまりのある市街地形成を図る。
 - 地域の実態・将来像に応じて市街地内の低未利用地の有効利用を図る。
- 保全する山地・里山**
- 保全する田園等**

生活や産業の拠点づくり

- 都市の商業等の主な拠点**
 - 都市の生活の拠点として維持・形成する。
- 工業・流通業務の主な拠点**

快適で安心な日常生活や機能的・創造的な産業活動を支える都市基盤づくり

- 都市間を結ぶ主要な幹線道路（供用済み）**
 - 市街地内の道路の質的な向上を図る。
 - 無秩序な宅地開発を誘発しないように沿道の土地利用規制等に努める。
- 主な河川**
 - 治水機能の確保、水と緑豊かな水辺空間の保全と整備を図る。
- 主なレクリエーションの拠点（供用済み）**
 - 特に自然の潤いが不足している市街地で緑地の整備を推進し、30%以上の緑地の確保を目指す。

- 都市計画区域**
- 市町村界**

注) 上記図は、都市計画区域マスタープランにおいて示した土地利用、都市施設、自然的環境の保全または整備に関する方針等を一枚にとりまとめた概念図である。